



会社名 株式会社 オプティム
代表者名 代表取締役社長 菅 谷 俊 二
(コード番号：3694 東証プライム市場)
問合せ先 管理担当取締役 林 昭 宏
(TEL. 03-6435-8570)

4. 支配株主との取引等に関する事項

(1) 支配株主との取引等の該当性及び少数株主の保護の方策に関する指針への適合状況

本取引は、当社の支配株主である代表取締役社長菅谷俊二氏がその保有株式の一部を売却する可能性があり、支配株主との重要な取引等に該当します。当社が、2025年6月30日に開示したコーポレート・ガバナンス報告書で示している「支配株主との取引等を行う際における少数株主の保護の方策に関する指針」に関する本取引における適合状況は、以下のとおりです。

当社が2025年6月30日に開示したコーポレート・ガバナンス報告書で示している「支配株主との取引等を行う際における少数株主の保護の方策に関する指針」では、「当社と支配株主との取引につきましては、一般取引と同様に適切な条件のもとに行うことを基本方針とし、特別委員会において、取引内容及び取引の妥当性等について審議・答申の上、取締役会において、取引の是非を決定することとしております。」としております。当社では2026年2月6日および2026年2月13日に特別委員会にて審議し、取締役会に対して答申したのち、取締役会を開催し、支配株主と利害関係のない取締役5名（うち社外取締役2名）が出席したうえ、本自己株式の取得が、一株当たりの価値および資本効率の向上を図るとともに、流通株式比率の向上が図れることを確認し、かつ現在の株価水準及び今後の資本政策の可能性を考慮して、十分な審議を行い、出席取締役の全員一致により本自己株式の取得に関する決議を行いました。従いまして、本自己株式の取得は「支配株主との取引等を行う際における少数株主の保護の方策に関する指針」に適合していると判断しております。

(2) 公正性を担保するための措置及び利益相反を回避するための措置に関する事項

公正性を担保するための措置として、当社は、自己株式立会外買付取引（ToSTNeT-3）を利用し、2026年2月13日の株価終値（最終特別気配を含む。）での本自己株式取得を行う予定です。

本自己株式の取得に関して、代表取締役社長菅谷俊二氏は当社の支配株主であることから、利益相反を回避するため、上記取締役会における議長としての議事進行、決議ならびに審議には参加しておりません。また、下記「(3) 当該取引等が少数株主にとって不利益なものではないことに関する、支配株主との利害関係のない者から入手した意見の概要」に記載のとおり、当社の独立社外取締役（江川 力平氏、竹崎 雄一郎氏）のみで構成する特別委員会より、本自己株式の取得は、その目的、意思決定手続、取得方法など総合的に判断し、少数株主にとって不利益なものではない旨の答申をいただいております。従いまして、本自己株式の取得は公平性を担保するための措置及び利益相反を回避するための措置がとられていると判断しております。

(3) 当該取引等が少数株主にとって不利益なものではないことに関する、支配株主からの独立性を有する者から入手した意見の概要

当社の独立社外取締役2名全員で構成する特別委員会から、2026年2月13日付で受領した答申書の概要は以下のとおりです。

- ① 本自己株式の取得は取得時期・方法などに鑑み、資本効率の改善を図るとともに、当社株式の流動性向上が図れること。
- ② 本自己株式の取得に際し、準備段階から決定に至るまで「支配株主との取引等を行う際における少数株主の保護の方策に関する指針」に適合しており、公正性を担保するための措置及び利益相反を回避するための措置は十分とられていること。
- ③ 東京証券取引所の自己株式立会外買付取引（ToSTNeT-3）による取引であるため、取引条件の公正性が担保されていること。

以上総合的に勘案して、少数株主にとって不利益なものではないと判断した。

(参考) 2025年9月30日時点の自己株式の保有状況

発行済株式総数（自己株式を除く）	55,098,640 株
自己株式数	99,888 株

以 上